

ヤマトシジミ

Pseudozizeeria maha



種名

分類	シジミチョウ科
----	---------

形態

前翅長 9 ~ 16mm。裏面は褐色をおびた灰白色。九州以北ではシルビアシジミとまぎらわしく、本種は垂外縁の黒斑が小さく、基半部にも小黒点がある。♂ は翅表が淡青白色。♀ は暗褐色、低温期には青色部が広がる。トカラ列島以南のものは、♂ の翅表が明るい。

分布

本州(秋田・岩手県以南)、四国、九州、南西諸島。広く分布し、もっとも普通にみられる蝶のひとつ。

出現期

本州の暖地では3月下旬から現れ、11月頃まで年5～6回の発生、八重山諸島では周年発生する。おもに終齢(4 齢)幼虫で越冬する。

生態

市街地に多く、人家の庭にも見られる。地表を這うように低く飛び、シロツメクサなどで吸蜜する。

食樹

カタバミ科のカタバミのみ。

幼虫
(幼生期)

卵は白色で扁平なまんじゅう型、直径 0.5mm。終齢幼虫は緑色、体長 12mm。蛹は細長いだるま型で帯蛹。体長 9mm。黄緑色や褐色になる。

出現時期

(月)

—

—

3

4

5

6

7

3

9

0

1

その他

参考文献：検索入門 渡辺康之著 チヨウ